自動作曲機能付ミュージックエディター

おんち

音知くん

USER'S MANUAL



MSX2

MSX2+

■1．概要

このＭＵＳＩＣ　ＥＤＩＴＯＲはＰＳＧ３声及びＦＭ音源６声＋リズム５声（ＦＭ音源カートリッジ搭載）をコントロールして曲を演奏させることができます。

入力トラックは、９トラック用意されており、各トラックに音源を割り振ることが可能です。また、作曲ができない方でもコンピューターが自動的に作曲をしてくれるので、作曲者の雰囲気をあじわうことができます。

■2．必要機材

（基本システム）

○ＭＳＸ２（ＲＡＭ６４Ｋ，Ｖ－ＲＡＭ１２８Ｋ）
○ディスクドライブ（１台または２台）
○ディスプレイ

（応用システム）

○ＦＭ音源カートリッジ
　ＦＭ音源を利用したい方は、必ず用意して下さい。
○プリンタ
　楽譜のプリントをするときに使用します。
○マウス
　このソフトは、マウスを利用して操作するように設計されておりますので、マウスの利用をお勧めします。

■3．起動方法

プログラム・ディスクをドライブＡ側へセットし、ＭＳＸ本体の電源をいれます。
プログラムは、オート・スタートになっていますので、しばらくするとディスクのアクセスがはじまりタイトル画面が表示されます。

キーが押されるとタイトル画面からメイン画面へとうつります。このときに、入力装置（キーボード，ジョイスティック，マウス）を選ぶウインドウが表示されますので、使用したい入力装置をキーボードのカーソルキーで選択しリターンキーで決定します。

■4．操作方法

（カーソルの移動）

●キーボード・・・・・カーソルキーで、上下左右へ移動します。
INSキーで、スイッチセット（セットボタン）
DELキーで、リセットとなります。（リセットボタン）

●ジョイスティック・・Aボタンで、スイッチセット（セットボタン）
Bボタンで、リセットとなります。

●マウス・・・・・・・左のボタンで、スイッチセット（セットボタン）
右のボタンで、リセットとなります。（リセットボタン）

■5．使用上の注意

データ・ディスクは、BASICか、MSX－DOS上でフォーマットしたものを使用して下さい。

ディスク・ドライブが、一台の場合は、プログラム・ディスクとデータ・ディスクを交互に入れ換えて使用して下さい。その場合、画面のメッセージにしたがいおこなって下さい。メッセージ以外に、ディスクの入れ換えをおこなうと、ディスクを破壊するおそれがあります。

ディスク・ドライブが、２台の場合は、Aドライブにプログラム・ディスクを、Bドライブにデータ・ディスクをセットしてください。

ディスク・ドライブが、３台以上の場合は、１台MSXから切り放して使用してください。

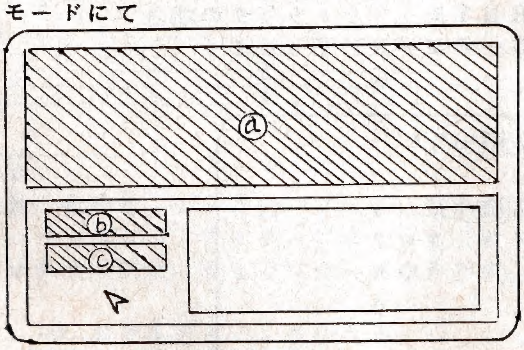
■6. メイン・メニュー

このソフトは大きく分けて７つのモードがあります。まず最初に、各モードの意味を理解して使用してください。

（１）初期セットモード
　　　メモ　データ　セット
　　　音源の割り振り
（２）楽譜入力モード
　　　楽譜入力
　　　リズムパターン入力
（３）音色セットモード
　　　音色のセット
（４）データロード／セーブモード
　　　データのロード／セーブ
（５）オート・プレイモード
　　　ミュージックデータのオート・プレイ
（６）自動作曲モード
　　　コンピューターによる自動作曲
（７）プリント・アウトモード
　　　楽譜のプリント・アウト

上のモードから抜けるには、スイッチのないところにカーソルを持っていき、マウスのセットボタンを押せば、そのモードから抜けることができます。

＜例＞　初期セットモードにて



このモードの場合、A，B，C以外にカーソルを持っていき、マウスのセットボタンを押せば、そのモードから抜けることができます。

■6．（1）初期セット．．．ＤＡＴＡ

【Ｍｅｍｏ】

２０文字×７行のメモエリアに曲のタイトルなどを書き残すことができます。カーソルの移動は、ＭＳＸのカーソル・キーで上下左右へ移動しますので、お望みのところへ文字を入力してください。また、メモ・モードから終了するには「ＥＳＣ」キーを押して下さい。

【Ｉｎｓｔ　ｃｈ】

音源の割り振り。ＰＳＧ，ＦＭ，リズムを１から９の各トラックに割り振ることができます。

１）音源のモード切り替え

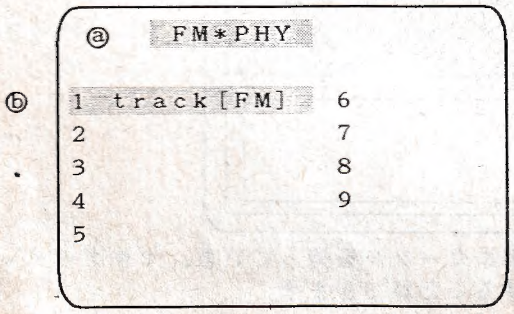
下図ａ）をマウスのセットボタンで押すと音源モードの切り替えをおこなえます。リズム・トラックは、９トラックのみセット可能です。

●ＰＳＧ・・・・・	ＰＳＧ	３トラック
●ＦＭ・・・・・・	ＰＳＧ	３トラック
	ＦＭ	９トラック
●ＦＭ＊ＲＨＹ・・	ＰＳＧ	３トラック
	ＦＭ	６トラック
	リズム	１トラック

２）音源の切り替え

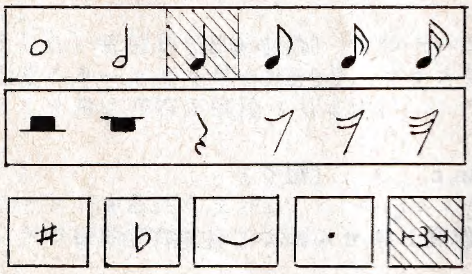
下図ｂ）をマウスのセットボタンで押すと、音源の切り替えをおこなえます。

<例>ＦＭ＊ＲＨＹモード９トラックの場合
ＰＳＧ→ＦＭ→ＲＨＹ→ｏｆｆ



■6．（2）楽譜入力．．．Ｍｕｓｉｃ

音符を入力するには、まず下図の中から入力したい音符を選びます。４分音符の３連符を入力したい場合は、♩ と ３ のスイッチの上へカーソルを持っていき、マウスのセットボタンを押し、そのグラフィックが反転するのを確かめたうえで、カーソルを５線譜上の入力したい位置へ持っていきセットボタンを押すと、その位置に音符がセットされます。

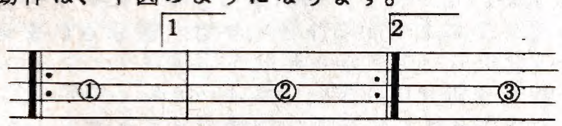


＃ ・・・シャープ
♭ ・・・フラット
‿ ・・・タイ
・ ・・・符点
├3┤ ・・・３連符

【ＬＯＯＰ】
小節線、オクターブ、リピート関係のコマンドを入力するモードです。このモードでは、同時にセットできるコマンドに制限がありますので注意してください。

1） 
この記号で、はさまれている音符をもう一度繰り返して演奏します。

2） ┌1　┌2
動作は、下図のようになります。



1 → 2 → 1 → 3

3） ↓8ｖａ　↓8ｖｂ
この記号以後の音符は、１オクターブｕｐ（８ｖａ）
１オクターブｄｏｗｎ（８ｖｂ）となります。
上下できるオクターブは、各１オクターブのみです。

4） Ｄ．Ｓ．は、𝄋 までもどってくりかえす。
Ｄ．Ｃ．は、曲の最初へもどる。
𝄌 ｔｏ，ｃｏｄａは、Ｄ．Ｃ．，Ｄ．Ｓ．のループからぬけだす。
 は、Ｄ．Ｃ．，Ｄ．Ｓ．のループ中で曲を終了させる。

【ＶＯＬ】

音符の音の強弱、長短を設定するモードです。マウスで［ＶＯＬ」を選び、このウインドウ内で音の強弱長短を設定し、カーソルを５線符上の入力したい位置にもっていきマウスのセットボタンを押すとその位置に、ＶＯＬデータが入力されます。ＶＯＬデータ以降の音符は、そのデータをもとに発音されます。

１）　強弱　ｆｏｒｔｉｓｓｉｍｏ　（最大音量）
　　　　　　｜
　　　　　　ｐｉａｎｉｓｓｉｍｏ　（最小音量）

２）　長短　ｌａｇａｔｏ　（長く）
　　　　　　｜
　　　　　　ｓｔａｃｃａｔｉｓｓｍｏ　（短く）

＜注意＞

音の長短は、ＰＳＧの内臓音色では作動しませんのでご注意下さい。

○楽譜スクロール

・・・トラックのトップへ
・・・１ページ左へスクロール
・・・１音符左へスクロール
・・・トラックのエンドへ
・・・１ページ右へスクロール
・・・１音符右へスクロール

○トラックのチェンジ

合計９のトラックを持っていますが、６．（１）の初期セット・モードの音源セットで、トラック音源を”ｏｆｆ”にしているトラックは、表示されません。

ＴＲＡＣＫ・・・表示トラックのチェンジ

○楽譜データのプレイ

プレイ・コントロールは、表示しているトラックのみプレイするか、全トラックを同時にプレイするかを設定できます。また、表示しているトラックのみプレイする場合は、プレイと同時に音符をスクロールさせることができますが、テンポが多少遅くなる場合がありますので、音符のチェックなどで使用することをおすすめします。



・・ＳｏｕｎｄＰｌａｙ
・・Ｐｌａｙ時に音符のスクロールＯＮ／ＯＦＦ
・・１トラック／全トラック
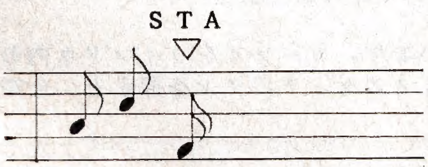
【ＩＮＳ】
　音符の入力を挿入、上書の切り替えをします。挿入の場合は、入力したい音符を５線符上の入力したい位置に持っていき、マウスのセットボタンを押した時、その音符の下にすでに音符が存在している場合は、その音符を後ろにずらし、そこに新しい音符をおきます。上書の場合は、その音符の上に新しい音符を置きますので、古い音符は、消去されます。

【ＤＥＬ】
　削除したい音符があるときは、このモードに入り、５線譜上の削除したい音符の位置にカーソルを持っていき、マウスのセットボタンを押します。すると、カーソルの示す音符が削除されます。

【ＴＭＰ】
　曲のテンポを設定します。　　（♩＝３８〜２２０）
　テンポの初期値は１２０です。

【ＩＮＳＴ】
　音色を変更するモードでウインドウないで音色を選び、カーソルを５線譜上の変更したい位置に持っていきマウスのセットボタンを押すと、それ以降の音符は、その音色で発音されます。
　音色を指定していない場合は、ナンバー０の音色が発音されます。

【ＣＯＰＹ】
　このモードに入り、５線譜上にカーソルを持っていくと下図のようにカーソルがスタート・カーソルとなっているので、コピーしたいスタート位置もっていきマウスのセットボタンを押すと、スタート位置が決定します。すると、カーソルがエンド・カーソルとなりコピーしたい範囲の末尾で再度セットボタンを押すとコピーする範囲が決定されます。この時にカーソルはコピー開始カーソルとなるので、コピーしたい位置にカーソルを持っていきセットボタンを押すと、さきにセットした範囲の音符がコピーされます。



【ＤＥＬＥＴＦ】
　さきの「ＤＥＬ」と異なり消去する範囲を自由に指定できます。
　コピーの時と同じ要領で消したい範囲を決めると実行されます。

○リズムの入力

　リズム・トラックのエディット画面に入るとリズム入力メイン・ウインドウが表示されます。このウインドウで、リズム・パターンのエディット、プレイ・パターンのセット、音量のセットのモードへ入ることができます。

　ここで、マウスのリセット・スイッチを押すと音符入力モードへもどります。

【ＥＤＩＴ】

　リズム・パターンをエディットします。ここで、下図ａ）にカーソルをもっていきマウスのセットボタンを押すと、リズム・パターンの入力ができます。

　　下図ｂ）を押すと拍子の設定ができます。

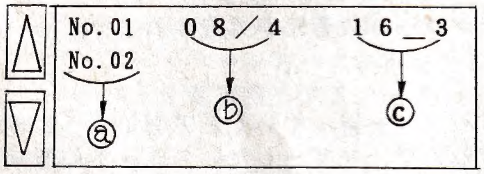
　　　　　４／４・・・４分の４拍子

　　下図ｃ）を押すとリズム１音の長さを設定できます。

　　　　　１６＿３・・・１６分音符の３連符

　　＜注意＞

　　　拍子と長さを変更すると、そのリズム・パターンはクリアされてしまいます。



【ＳＥＴ】

　どの順番で、リズム・パターンを演奏するか設定します。ＥＤＩＴの時と同じように、ナンバーのところでセットボタンを押すと、パターンナンバーがかわっていきます。

【ＶＯＬ】

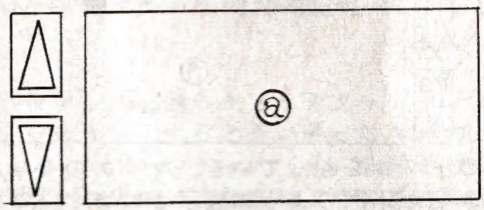
　各リズム音量の変更をおこないます。カーソルをウインドウ内の変更したいリズム名の上にもっていき、マウスのセットボタンを押すと、そのリズム音量が変更されます。

■６．（３）音色セット．．．ＩＮＳＴ

【ＰＳＧ】
　このスイッチが反転している時は、ＰＳＧの音色を変更することができます。

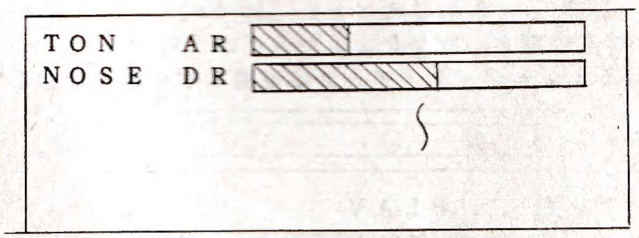
【ＯＰＬＬ】
　このスイッチが反転している時は、ＦＭ音源の音色を変更することができます。

Ｎｏ．１



上図のａ）の位置にカーソルをもっていき、マウスのセットボタンを押すと、カーソルが示す音色のパラメーターが下図のように表示されます。（内蔵音色の場合は、表示されない）カーソルを変更したいパラメーターの上にもっていき、マウスのセットボタンを押せば、そのパラメーターの値を変更することができます。また、鍵盤のグラフィックをマウスのセットボタンで押すと、エディットしている音色を　聞くことができます。

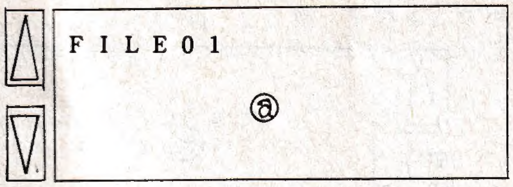
エディット・モードから抜けるには、マウスのリセットボタンを押します。すると、音色名の変更ウインドウが表示されます。このウインドウは、キーボードのリターン・キーで抜けられます。



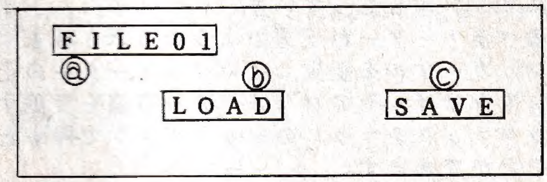
■６．（４）　データ　ロード／セーブ．．．ＤＩＳＫ

【Ｍｕｓｉｃ】
ミュージック・データのロード／セーブ

【ＩＮＳＴ】
音色データのロード／セーブ



上図のａ）の位置にカーソルをもっていき、マウスのセットボタンを押すと、カーソルが示すファイル名が下図のように表示されます。この時に、下図ａ）の位置をセットボタンで押すとファイル名の変更ができます。
下図ｂ）で、データのロード、下図ｃ）で、データのセーブができます。



【ＰＬＡＹ】
現在ロードしているミュージック・データをプレイする。

【ＭＥＭＯ】
現在ロードしているミュージック・データのメモ・エリアを表示する。

【ＴＲＡＣ】
現在ロードしているミュージック・データの音源の割り振り状態を表示する。

■６．（５）　オート・プレイ．．．ＰＬＡＹ

データ・ディスクにセーブしてある曲を、ランダムに演奏していきます。
このモードから抜けるには、マウスのリセットボタンを押します。

■6．（6） 自動作曲．．．Ａｕｔ

このモードで、コンピューターによる自動作曲を楽しむことができます。

○使用方法

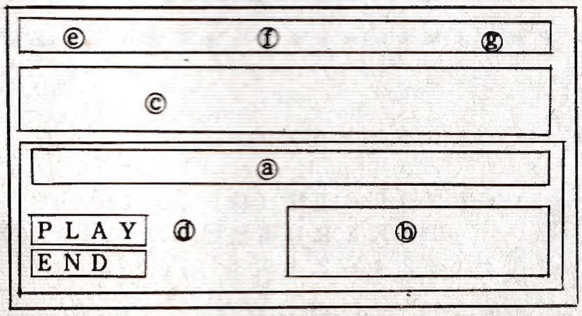
まず、ミュージック・パラメーター（ｂ）をセットします。ミュージック・パラメーターは、上の段が曲のスピード感（テンポ）を示し、右側のキャラクターをセットすると曲が速くなり、左側のキャラクターをセットすると曲が遅くなります。

また、下の段は曲の明暗感を示し、右側のキャラクターをセットすると明るい曲となり、左側のキャラクターをセットすると暗い曲となります。ミュージック・パラメーターをセットし、ジャンル・スイッチ（ａ）を押すとミュージック・パラメーターをもとに作曲が始まります。作曲を終了するまで多少時間がかかりますがご了承下さい。作曲が終了すると、５線符上（ｃ）にキャラクターが表示されます。

作曲した曲をプレイしたい場合は、ＰＬＡＹスイッチ（ｄ）を押して下さい。

曲の一部修正をしたい場合は、エディット・スイッチ（ｅ，ｆ，ｇ）により修正します。１キャラクターのデータをすべて変更したい場合は、（ｆ）のスイッチの４つのキャラクターのうち１つを選び、そこにカーソルをもっていきマウスのセットスイッチを押すと、５線符上のキャラクターに赤いカーソルが表示されますので、そのカーソルを移動させ、変更させたい場所にもっていき、マウスのセットボタンを押すと、そのキャラクターが新しいキャラクターに変更され、その部分のミュージック・データが新しいデータへ変更されます。

エディット・スイッチ（ｅ，ｇ）は、（ｅ）が音階のアップ、（ｇ）が音階のダウンで、スイッチ（ｆ）と同じように使用しますが、５線符上のキャラクターは変更されません。



■6．（7） プリント・アウト．．．Print

このモードでは、エディター上で入力したり、自動作曲モードで作曲した曲をプリンターを用いて印刷するモードです。

【PRINT】
下のコントロール・スイッチで選択したものを印刷する。

＜コントロール・スイッチ＞

●MEMO ON
メモエリアのプリントON

●ME OFF
メモエリアのプリントOFF

●PAGE
画面に表示している楽譜のみプリント

●TRACK
画面に表示している楽譜トラックをすべてプリント

●ALL TR
全楽譜プリントアウト

＜注意＞
プリンターの関係上、印刷できない機種がありますので、ご注意下さい。

ディップスイッチは、MSXモードにセットして下さい。
ビットイメージモードについては、最大値を選択してください。

＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊

《企画／開発》・・・・ウインキーソフト

《販売》・・・・・・・ブラザー工業（株）
TAKERU事務局
℡ 052（824）2493